

付録3 新型コロナウイルス感染拡大の状況における大学の対応について（東京農工大学）

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

オンライン講義FD（農・工）およびHP上でのオンライン講義Q&Aの充実。学生向けのオンライン講義倫理の担保。

オンライン講義においての実質化担保するための通知を全学教育・学生生活委員会から各部局に発出し、授業アンケートの実施等により検証を行っている。

非常勤講師採用の発令時期を早め、事前に本学のネットワークへのログインを可能にするなど、オンライン講義準備に必要な時間を担保する措置を講じた。

2020年7月からクラスを分けて実験実習を実施した。（農学部）

2020年10月から、ハイブリッド講義を実施した。（工学部）

2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

2020年4月1日の千葉学長就任に伴い、学長を本部長とする新型コロナウイルス感染症対策本部を設置。原則として、週1回の定例会議を行い、全学的に問題点の共有を行うとともに、その改善策を講じている。

現在までに実施した学生支援策の主な内容は、次のとおりである。

1. 本学独自の学生支援策として、緊急支援奨学金を支給した。

(1) 1回目支給（5月）

申請者215名に対し、191名に支給を決定

支給者内訳：博士25名、修士93名、学部生73名 支給額合計1,080万円

(2) 2回目支給（6月）

申請者299名に対し、247名に支給を決定

支給者内訳：博士29名、修士94名、学部生124名 支給額合計1,380万円

2. ネットワーク環境が脆弱な学生を対象に、WiFiルーターの無償貸与を実施した。

3. 農工大生協との連携

教科書Web購入システムを構築したほか、授業に必要な教科書の購入にかかる送料及び代引き手数料を大学で負担した。

4. 学生相談

キャンパス内の入構制限を実施したため、府中地区・小金井地区キャンパスの就職相談室においてメールによる就職相談を実施したほか、履修計画や心身の健康等に関する支援を行うため学生支援室、保健管理センターと連携し、担当教員、指導教員、学生生活委員等がそれぞれ学生のサポートを実施した。